

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	難聴児補聴器購入助成事業			
予算科目	3 款 1 項 13 目			
総合計画での位置付け	福祉の向上と保健・医療の充実～やすらぎとぬくもりのまちづくり～ 福祉施策の向上と充実			
所管課情報	担当課:	福祉課	電話番号(内線):	538
記入者情報	所属長:	渡辺 悦子	担当責任者:	大森 秀泰
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 25 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	18歳未満の中軽度の難聴児の保護者			
根拠法令等				
事業の目的	軽度・中等度難聴児が装用する補聴器の購入に要する経費の一部を助成することにより、対象児の成長期における言語能力の健全な発達やコミュニケーション力の向上を図り、もって対象児の福祉の増進を目的とする。			
事業の内容	身体障害者手帳の交付対象とならない両耳の聴力レベルが30デシベル以上である市内の18歳未満の対象児の保護者に購入費用の1/3を補助する。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	軽度の難聴児にも、補聴器を活用することで学習支援が行なえる。このため、学校の特別支援教諭を通じて周知を図る。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
事業費	直接事業費	0	189	0	0
	人件費	159	161	80	161
	合計	0	350	80	161
人件費 内訳	人工数	0.02	0.02	0.01	0.02
	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	159	160	80	160
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	94	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	159	256	80	161

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
申請件数	件	0	2	0	0

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
	189	189	189	189	189	945

成果指標				
成果指標	対象児童の保護者からの申請件数			
指標設定の考え方	保護者からの申請によって、補聴器装備の支援を行うため。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標28年度
目標	2	2	2	2
実績	0	0	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	他市での申請が増えてきているので、今後申請の増加が見込まれる。適切な対応ができるよう、準備をしておく必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	C
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	軽度の難聴児補聴器の実績には至らなかったが、保護者や医療機関の問い合わせに対し、申請手順等の説明を行い、申請を促すことができた。特別支援連絡会や養護教諭の会などで、制度周知をはかり、難聴児の学習支援の一助となれるようにしたい。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題